第1四半期報告書

本書は、ＥＤＩＮＥＴ（Electronic Disclosure for Investors' NETwork）システムを利用して金融庁に提出した第1四半期報告書の記載事項を、紙媒体として作成したものであります。

あすか製薬株式会社

(E00929)

目　　次

【表紙】・・・

【表示方法の変更】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
【簡便な会計処理】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】 ・・・・・・・・・・・・・ 15
【注記事項】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
【事業の種類別セグメント情報】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
【所在地別セグメント情報】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
【海外売上高】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
2 【その他】 ・・ 18
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
レビュー報告書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 巻末

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年８月14日
【四半期会計期間】	第90期第１四半期（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）
【会社名】	あすか製薬株式会社
【英訳名】	ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　山口　隆
【本店の所在の場所】	東京都港区芝浦二丁目５番１号
【電話番号】	（03）5484－8361（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長　　佐々木　洋
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝浦二丁目５番１号
【電話番号】	（03）5484－8361（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長　　佐々木　洋
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

第一部【企業情報】

第１【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第１四半期連結 累計(会計)期間	第90期 第１四半期連結 累計(会計)期間	第89期
会計期間	自平成20年 ４月１日 至平成20年 ６月30日	自平成21年 ４月１日 至平成21年 ６月30日	自平成20年 ４月１日 至平成21年 ３月31日
売上高（百万円）	6,645	7,671	30,422
経常利益又は経常損失（△）（百万円）	△129	198	1,377
四半期（当期）純利益又は四半期純損失（△）（百万円）	△42	75	600
純資産額（百万円）	33,727	33,474	33,109
総資産額（百万円）	48,762	52,011	50,801
１株当たり純資産額（円）	1,197.15	1,185.13	1,175.32
１株当たり四半期（当期）純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額（△）（円）	△1.50	2.69	21.30
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	―	―	―
自己資本比率（％）	69.2	64.2	65.2
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△979	△441	△214
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△1,400	△1,947	△2,247
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△178	△95	△529
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（百万円）	10,206	7,289	9,774
従業員数（人）	1,069	1,078	1,042

（注）１．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

２．売上高には、消費税等は含まれておりません。

３．潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、当社、子会社３社、関連会社２社により構成されており、医薬品事業およびその他の事業を展開しております。

当第１四半期連結会計期間における事業の内容について重要な変更はありません。主要な関係会社の異動は、概ね以下のとおりであります。

〈医薬品事業〉

平成21年４月１日付で、新たに合弁会社（あすかActavis製薬㈱）を設立し、連結子会社といたしました。

〈その他の事業〉

主要な関係会社の異動はありません。

3【関係会社の状況】

当第１四半期連結会計期間において、以下の会社が新たに提出会社の関連会社となりました。

名称	住所	資本金（百万円）	主要な事業の内容	議決権の所有割合（%）	関係内容
（連結子会社） あすかActavis製薬㈱	東京都港区	200	医薬品の開発、製造、販売ならびに輸出入	55	役員の兼任あり

（注）特定子会社に該当しております。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年６月30日現在

従業員数（人）	1,078　(138)

（注）　従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は（　）内に当第１四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年６月30日現在

従業員数（人）	1,037

（注）　従業員数は就業人員であります。

第２【事業の状況】

１【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

区分	当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	前年同四半期比（%）
医療用医薬品（百万円）	5,927	110.1
一般用医薬品（百万円）	34	113.4
動物用医薬品（百万円）	303	117.3
その他（百万円）	124	―
計（百万円）	6,389	112.5

（注）１．金額は仕切価格によっております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

区分	当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	前年同四半期比（%）
医療用医薬品（百万円）	1,151	158.5
動物用医薬品（百万円）	207	172.6
医療機器（百万円）	16	93.5
その他（百万円）	10	31.5
計（百万円）	1,385	154.4

（注）１．金額は仕入価格によっております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社グループは販売計画、在庫状況に基づいて生産計画をたて、これによって生産しているため、受注生産は行っておりません。

(4) 販売実績

区分	当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	前年同四半期比（%）
医療用医薬品（百万円）	7,178	115.3
一般用医薬品（百万円）	26	68.0
動物用医薬品（百万円）	323	115.0
医療機器（百万円）	19	103.2
その他（百万円）	123	151.4
計（百万円）	7,671	115.4

（注）１．前第１四半期連結会計期間及び当第１四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第１四半期連結会計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）		当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	
	金額（百万円）	割合（%）	金額（百万円）	割合（%）
武田薬品工業株式会社	5,539	83.4	6,449	84.1

２．本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第１四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第１四半期連結会計期間において、新たに合弁会社を設立しました。

合弁関係

契約会社名	内容	出資額	合弁会社名	設立年月日
アクタビス　グループ　ピーティーシーエイチエフ（国名：アイスランド）	医薬品の開発、製造、販売ならびに輸出入	当社　110百万円 アクタビスホールディングアジアビーブイ　90百万円	あすかActavis製薬株式会社	2009年４月１日

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（１） 業績の概況

当第１四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した金融危機の影響による急激な景気の悪化に一部底打ちの兆しはあるものの、企業収益や設備投資の落ち込み、雇用情勢の悪化、個人消費の冷え込み等引き続き厳しい状況で推移しました。

医薬品業界におきましては、後発医療用医薬品の普及拡大が進むなど、薬剤費削減の基調が継続し、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、医薬品事業を中心に売上げの確保に努めました結果、主力品の売上げ増加ならびに後発医療用医薬品（１品目）を上市したことなどにより、売上高は76億７千１百万円（前年同期比15.4%増）となりました。利益面では、研究開発費および販売経費等が増加しましたが、売上高増の影響により、営業利益は１億９百万円（前年同期は２億４千２百万円の営業損失）、経常利益は１億９千８百万円（前年同期は１億２千９百万円の経常損失）とそれぞれ増益となりました。四半期純利益も、特別損失として投資有価証券評価損５千４百万円を計上しましたが（前年同期は特別利益１億４千１百万円計上）、７千５百万円（前年同期は４千２百万円の四半期純損失）と増益となりました。

各分野における売上状況は、医薬品分野では消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット」、前立腺肥大症・癌治療剤「プロスタール」、甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」、高脂血症治療剤「リピディル」および「ラミアン」、高血圧治療剤「アムロジピン」、メニエール病改善剤「イソソルビド」、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「メサラジン」、前立腺肥大症の排尿障害改善剤「リストリーム」、更年期障害治療剤「メノエイドコンビパッチ」、経口避妊剤「アンジュ」および不妊症治療剤「HMG注」等の産婦人科製品、本年５月に上市いたしました後発医療用医薬品前立腺癌治療剤「ビカルタミド」、ならびにコ・プロモーション製品を中心に販売努力をいたしました結果、売上高は72億５百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

動物用医薬品分野では主力製品の繁殖器官用製剤「セロトロピン」、「レジプロン」、牛用消炎鎮痛剤「メタカム」ならびに豚・鶏用飼料添加物「アイブロシン」を中心に販売努力をいたしました結果、売上高は３億２千３百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

その他、検査、食品、医療機器、原料薬品等の各分野では、それぞれ市況の厳しさが続くなかで鋭意販売努力をし、売上高は１億４千３百万円（前年同期比42.3%増）となりました。

生産面におきましては、一層の生産の効率化に取り組み、安定供給、高品質の確保を目指すとともに計画に則した生産を順調に達成することができました。また、いわき工場新棟の新生産体制は、来年４月の本稼動を目指し順調に進んでおります。

当第１四半期連結会計期間における設備投資額は１億９千７百万円でその主なものは、生産設備および研究設備などであり、全額自己資金で賄っております。

当第１四半期連結会計期間においては、社債の発行、増資などによる資金調達は行っておりません。

（２） キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は前連結会計年度末に比べ24億８千５百万円減少し、72億８千９百万円となりました。

当第１四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は４億４千１百万円（前年同期は９億７千９百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上及び減価償却費の発生等による資金の増加を、賞与引当金の減少、たな卸資産の増加等による資金の減少が上回ったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、19億４千７百万円（前年同期は14億円の減少）となりました。これは主にいわき工場新棟建設資金として使用したためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、９千５百万円（前年同期は１億７千８百万円の減少）となりました。これは少数株主からの払込みによる収入もありましたが、主に配当金の支払によるものであります。

（３） 事業上および財務上の対処すべき課題

当第１四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（４） 研究開発活動

当第１四半期連結会計期間における研究開発費総額は12億１千６百万円であります。なお当第１四半期連結会計期間において、本年１月に製造販売承認を取得した後発医薬品ビカルタミド錠「あすか」を５月に上市しました。

第３【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第１四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第１四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第４【提出会社の状況】

１【株式等の状況】

（１）【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

②【発行済株式】

種類	第１四半期会計期間末現在発行数（株）（平成21年６月30日）	提出日現在発行数（株）（平成21年８月14日）	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	30,563,199	30,563,199	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数　1,000株
計	30,563,199	30,563,199	－	－

（２）【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

（３）【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

（４）【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数（株）	発行済株式総数残高（株）	資本金増減額（百万円）	資本金残高（百万円）	資本準備金増減額（百万円）	資本準備金残高（百万円）
平成21年４月１日～平成21年６月30日	－	30,563,199	－	1,197	－	844

（５）【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第１四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

（６）【議決権の状況】

当第１四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年３月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成21年６月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	－	－	－
議決権制限株式（自己株式等）	－	－	－
議決権制限株式（その他）	－	－	－
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式　2,392,000	－	単元株式数　1,000株
完全議決権株式（その他）	普通株式　27,973,000	27,973	同上
単元未満株式	普通株式　198,199	－	－
発行済株式総数	30,563,199	－	－
総株主の議決権	－	27,973	－

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株（議決権の数１個）含まれております。

②【自己株式等】

平成21年６月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(％)
あすか製薬株式会社	東京都港区芝浦二丁目５番１号	2,093,000	－	2,093,000	6.84
株式会社あすか製薬メディカル	神奈川県川崎市高津区下作延1604	299,000	－	299,000	0.97
計	－	2,392,000	－	2,392,000	7.82

２【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年４月	５月	６月
最高（円）	870	841	858
最低（円）	784	782	804

（注）　最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

３【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第５【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第１四半期連結累計期間（平成20年４月１日から平成20年６月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第１四半期連結会計期間（平成21年４月１日から平成21年６月30日まで）及び当第１四半期連結累計期間（平成21年４月１日から平成21年６月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、前第１四半期連結累計期間（平成20年４月１日から平成20年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表については、公認会計士桜友共同事務所所属の公認会計士杉浦文彦氏、同　公認会計士野中信男氏及び同　公認会計士藤枝宗明氏による四半期レビューを受け、また、当第１四半期連結会計期間（平成21年４月１日から平成21年６月30日まで）及び当第１四半期連結累計期間（平成21年４月１日から平成21年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表については、公認会計士桜友共同事務所所属の公認会計士野中信男氏、同　公認会計士藤枝宗明氏及び同　公認会計士中市俊也氏による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第89期連結会計年度　　公認会計士　杉浦文彦氏（公認会計士桜友共同事務所所属）

第90期第１四半期連結会計期間及び第１四半期連結累計期間

公認会計士　中市俊也氏（公認会計士桜友共同事務所所属）

1【四半期連結財務諸表】
（1）【四半期連結貸借対照表】

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 (平成21年６月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,049	5,034
受取手形及び売掛金	8,443	8,497
有価証券	2,340	4,840
商品及び製品	3,877	3,168
仕掛品	523	739
原材料及び貯蔵品	1,351	1,258
その他	1,795	1,833
流動資産合計	23,380	25,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,813	5,900
その他（純額）	8,915	8,881
有形固定資産合計	※1 14,728	※1 14,781
無形固定資産	3,800	890
投資その他の資産		
投資有価証券	4,795	4,181
その他	5,426	5,695
貸倒引当金	△120	△120
投資その他の資産合計	10,101	9,756
固定資産合計	28,630	25,428
資産合計	52,011	50,801
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,574	3,478
短期借入金	133	133
未払法人税等	171	73
賞与引当金	579	1,268
その他の引当金	8	9
その他	4,390	3,605
流動負債合計	8,857	8,569
固定負債		
長期借入金	919	940
退職給付引当金	6,733	6,700
その他の引当金	226	250
その他	1,800	1,230
固定負債合計	9,679	9,122
負債合計	18,536	17,691

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 (平成21年６月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年３月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	34,024	34,145
自己株式	△2,304	△2,304
株主資本合計	33,762	33,884
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△377	△774
評価・換算差額等合計	△377	△774
少数株主持分	89	―
純資産合計	33,474	33,109
負債純資産合計	52,011	50,801

（２）【四半期連結損益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日)
売上高	6,645	7,671
売上原価	2,588	2,953
売上総利益	4,057	4,718
返品調整引当金繰入額	0	△1
差引売上総利益	4,057	4,719
販売費及び一般管理費	※1 4,299	※1 4,610
営業利益又は営業損失（△）	△242	109
営業外収益		
受取利息	12	4
受取配当金	47	41
不動産賃貸料	45	41
その他	32	14
営業外収益合計	137	100
営業外費用		
支払利息	6	4
たな卸資産処分損	12	－
固定資産処分損	2	0
コミットメントフィー	－	3
その他	2	3
営業外費用合計	24	11
経常利益又は経常損失（△）	△129	198
特別利益		
退職給付制度終了益	141	－
特別利益合計	141	－
特別損失		
投資有価証券評価損	－	54
特別損失合計	－	54
税金等調整前四半期純利益	11	144
法人税等	※2 54	※2 69
少数株主損失（△）	－	△0
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△42	75

（3）【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11	144
減価償却費	200	344
投資有価証券評価損益（△は益）	－	54
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1,598	32
賞与引当金の増減額（△は減少）	△660	△689
受取利息及び受取配当金	△59	△45
支払利息	6	4
売上債権の増減額（△は増加）	854	53
たな卸資産の増減額（△は増加）	△83	△585
仕入債務の増減額（△は減少）	△319	78
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額（△は減少）	1,355	△195
その他	146	373
小計	△146	△428
利息及び配当金の受取額	56	45
利息の支払額	△6	△4
法人税等の支払額	△883	△53
営業活動によるキャッシュ・フロー	△979	△441
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,138	△1,024
その他	△261	△923
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,400	△1,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
少数株主からの払込みによる収入	－	90
自己株式の純増減額（△は増加）	△0	△0
配当金の支払額	△158	△164
その他	△20	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178	△95
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,559	△2,485
現金及び現金同等物の期首残高	12,765	9,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	※　10,206	※　7,289

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
１．連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 当第１四半期連結会計期間より、あすかActavis製薬株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。 (2) 変更後の連結子会社の数 ３社

【表示方法の変更】

当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
（四半期連結貸借対照表関係） 前第１四半期連結会計期間まで区分掲記しておりました「確定拠出年金移行時未払金」(当第１四半期連結会計期間末の残高は955百万円)は、重要性が乏しいため、固定負債の「その他」に含めて表示することにしました。

【簡便な会計処理】

	当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
１．たな卸資産の評価方法	当第１四半期連結会計期間末のたな卸資産の算出については、実地たな卸を省略し前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。
２．固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
３．法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められますので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第１四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
税金費用の計算	税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。　なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末 （平成21年３月31日）
※１　有形固定資産の減価償却累計額は、22,257百万円であります。	※１　有形固定資産の減価償却累計額は、22,015百万円であります。
２　保証債務 従業員の財形制度による住宅資金等の金融機関借入金に対し74百万円の債務保証を行っております。	２　保証債務 従業員の財形制度による住宅資金等の金融機関借入金に対し76百万円の債務保証を行っております。
３　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関５行と特定融資枠契約を締結しております。 特定融資枠契約の総額　4,000百万円 借入実行残高　－ 百万円	３　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関５行と特定融資枠契約を締結しております。 特定融資枠契約の総額　4,000百万円 借入実行残高　－ 百万円

（四半期連結損益計算書関係）

前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
※１　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 給料手当・賞与　953百万円 賞与引当金繰入額　401百万円 退職給付引当金繰入額　95百万円 研究開発費　1,096百万円	※１　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 給料手当・賞与　922百万円 賞与引当金繰入額　367百万円 退職給付引当金繰入額　101百万円 研究開発費　1,216百万円
※２　当四半期連結会計期間における税金費用については、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理により計算しているため、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。	※２　当四半期連結会計期間における税金費用については、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理により計算しているため、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
※　現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 （平成20年６月30日現在） 現金及び預金勘定　5,616百万円 取得日から３か月以内に償還期限の到来する有価証券　4,590百万円 現金及び現金同等物　10,206百万円	※　現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 （平成21年６月30日現在） 現金及び預金勘定　5,049百万円 預入期間が３か月を超える定期預金　△100百万円 取得日から３か月以内に償還期限の到来する有価証券　2,340百万円 現金及び現金同等物　7,289百万円

（株主資本等関係）

当第１四半期連結会計期間末（平成21年６月30日）及び当第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

１．発行済株式の種類及び総数

普通株式　　30,563千株

２．自己株式の種類及び株式数

普通株式　　2,393千株

３．配当に関する事項

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額（百万円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年６月26日定時株主総会	普通株式	197	7	平成21年３月31日	平成21年６月29日	利益剰余金

（セグメント情報）

【事業の種類別セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年６月30日）及び当第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）

医薬品事業の売上高及び営業損益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年６月30日）及び当第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第１四半期連結累計期間（自平成20年４月１日　至平成20年６月30日）及び当第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（１株当たり情報）

１．１株当たり純資産額

当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末 （平成21年３月31日）
１株当たり純資産額　1,185.13円	１株当たり純資産額　1,175.32円

２．１株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額（△）

前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
１株当たり四半期純損失金額（△）　△1.50円 なお、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、１株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	１株当たり四半期純利益金額　2.69円 なお、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（注）　１株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）（百万円）	△42	75
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失（△）（百万円）	△42	75
期中平均株式数（千株）	28,173	28,170

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

２【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年８月11日

あすか製薬株式会社

取締役会　御中

事務所名　　公認会計士桜友共同事務所

公認会計士　　杉浦　文彦　　印

公認会計士　　野中　信男　　印

公認会計士　　藤枝　宗明　　印

私たちは、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているあすか製薬株式会社の平成20年４月１日から平成21年３月31日までの連結会計年度の第１四半期連結累計期間（平成20年４月１日から平成20年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、私たちの責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

私たちが実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、あすか製薬株式会社及び連結子会社の平成20年６月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第１四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

（注）１．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
２．四半期連結財務諸表の範囲にはＸＢＲＬデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年８月11日

あすか製薬株式会社

取締役会　御中

事務所名　　公認会計士桜友共同事務所

公認会計士　　野中　信男　　印

公認会計士　　藤枝　宗明　　印

公認会計士　　中市　俊也　　印

私たちは、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているあすか製薬株式会社の平成21年４月１日から平成22年３月31日までの連結会計年度の第１四半期連結会計期間（平成21年４月１日から平成21年６月30日まで）及び第１四半期連結累計期間（平成21年４月１日から平成21年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、私たちの責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

私たちが実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、あすか製薬株式会社及び連結子会社の平成21年６月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第１四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

（注）１．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

２．四半期連結財務諸表の範囲にはＸＢＲＬデータ自体は含まれていません。